

教育だより

発行：芦別市教育委員会学務課

☎0124-22-2111

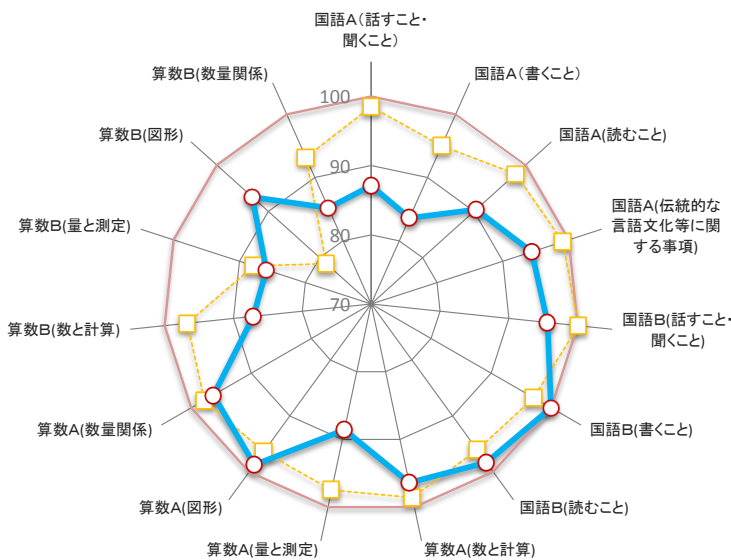
目次	1面	子どもたちの学力の現状は？
	2～3面	子どもたちの学習習慣や生活習慣とその改善への取組
	4面	教育委員会諸行事・お知らせ

子どもたちの学力の現状は？

毎年4月に、文部科学省が児童生徒の学力や学習状況を把握し、課題を見つけ改善を図ることを目的として、小学校6年生と中学校3年生を対象に「全国学力・学習状況調査（国語、算数・数学）」を実施しています。平成29年度の結果は次のとおりです。
 (グラフは教科の領域別に全国を100とした場合の北海道及び芦別市の割合を示したものです。)

【小学校6年生の教科全体の状況】

— 全国(公立) — □ 北海道(公立) — ● 芦別市



国語・算数(数学)の「A」「B」の問題は、次の内容により区分されています。
 A・・・主に知識に関する問題
 B・・・主に活用に関する問題

国語

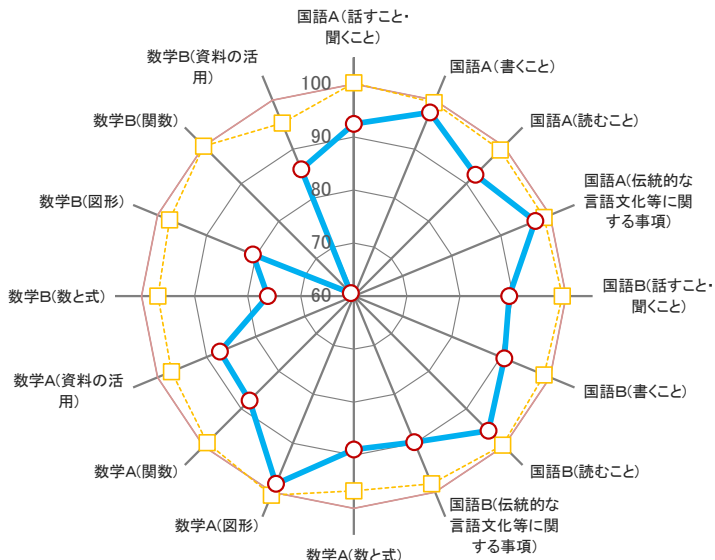
国語については、全体的に全国平均正答率と比較して低い結果となっていますが、国語Bの「書くこと」に関しては、全国平均正答率と同様の結果となっています。

算数

算数については、全体的に全国平均正答率と比較して低い結果となっていますが、算数Aの「図形」に関しては、全国平均正答率に近い結果となっています。

【中学校3年生の教科全体の状況】

— 全国(公立) — □ 北海道(公立) — ● 芦別市



国語

国語については、全体的に全国平均正答率と比較して低い結果となっていますが、国語Aの「書くこと」に関しては、全国平均正答率に近い結果となっています。

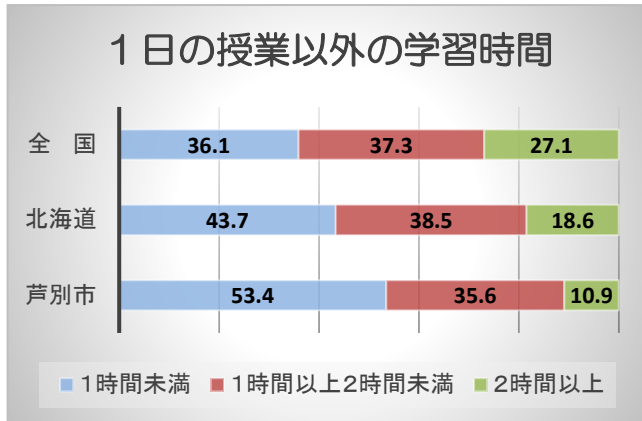
数学

数学については、全体的に全国平均正答率と比較して低い結果となっていますが、数学Aの「図形」に関しては、全国平均正答率に近い結果となっています。

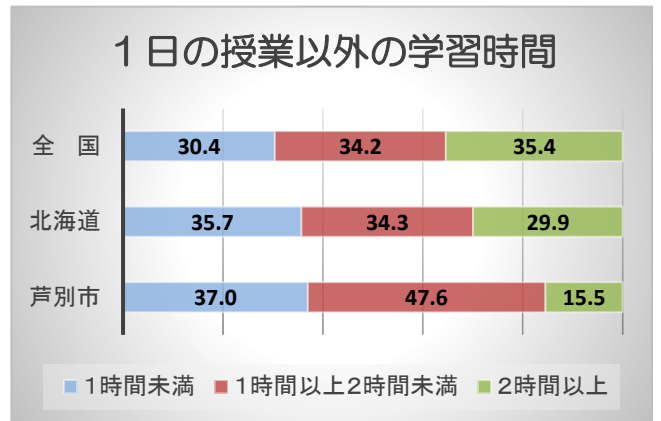
子どもたちの学習習慣や生活習慣は？

全国学力・学習状況調査では、「児童生徒質問紙調査」により、子どもたちの学習習慣や生活習慣の調査も行っていますので、その一部をご紹介します。

【小学校6年生の学習習慣】

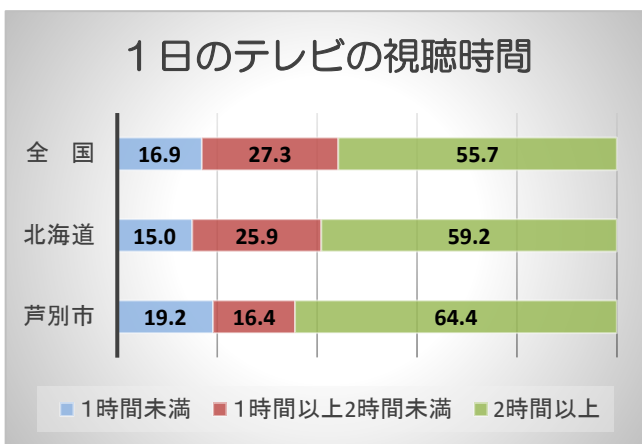


【中学校3年生の学習習慣】

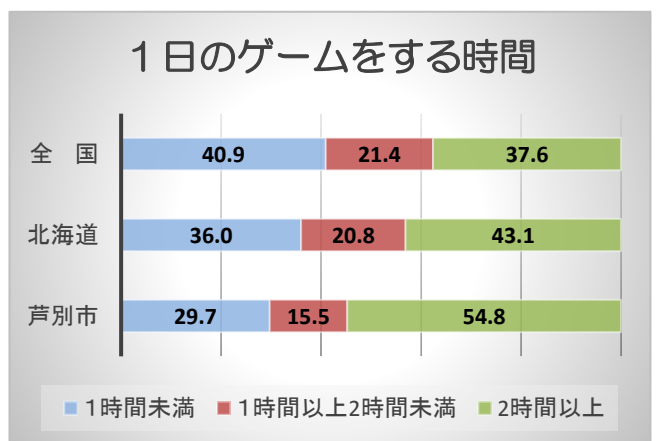
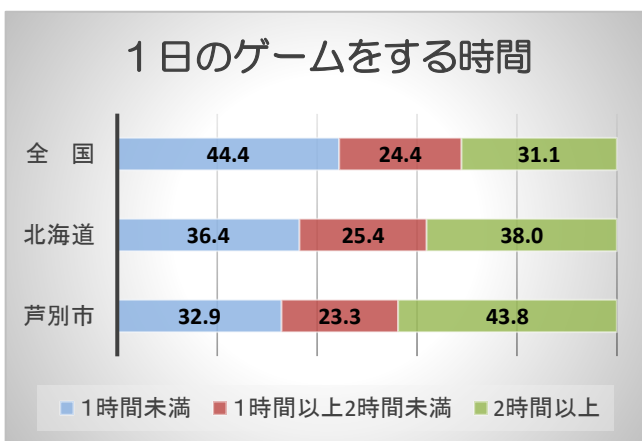
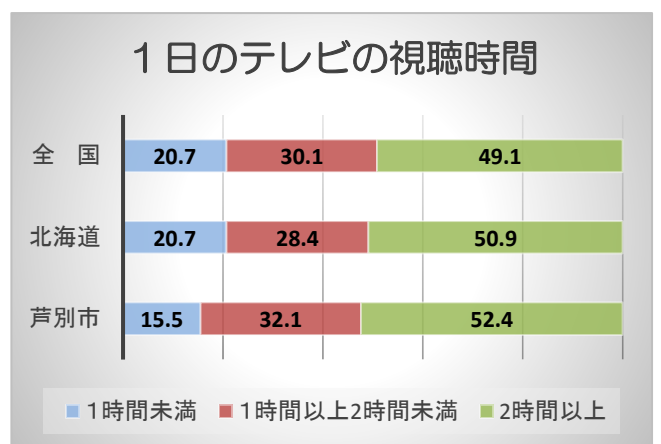


1日の授業以外の学習時間は全国・北海道に比べ、小学校・中学校ともに短い傾向にあります。

【小学校6年生の生活習慣】



【中学校3年生の生活習慣】



1日のテレビやゲームに接する時間は全国・北海道に比べ、小学校・中学校ともに長い傾向にあります。

学力向上、学習習慣や生活習慣改善への取組

1面・2面の結果を踏まえて、子どもたちの学力向上、学習習慣の定着や生活習慣改善のため、さまざまな取組を行っていますので、その一部をご紹介します。

☆学校では？

市内の小中学校では、夏休みや冬休み中に学力向上・規則正しい生活習慣を身につけるための補足的学習会や、北海道の指定事業による授業改善への取組、公開研究会の開催などさまざまな取組を行っています。



芦別小学校・上芦別小学校では、それぞれ芦別高校生・大学生ボランティアのご協力をいただきながら、補足的学習会を行っています。芦別中学校では、近隣の小中学校とともにわかりやすい授業を目指して毎月検討会議を行い、授業改善に取り組んでいます。啓成中学校では、市内の小中学校の先生が特設授業を参観し研究討議を行う公開研究会を開催しました。

先生も頑張ってます！

先生も、研修や視察などいろいろな取組をしています。



～福井県の視察～

学力上位県である福井県の現状を学ぶため、学校の工夫した授業の取組方などを視察し、フォーラムでは学力向上に向けた県の取組について研修しました。今後は、これらのことを教育活動に生かしていきます。

～市教委連携研修～

北海道立教育研究所の講師を招き、子どもたちの学力向上のため、スキルアップ研修を行いました。

☆教育委員会の取組

教育委員会でもいろいろな取組をしています。



～やさしいサポート教室～

夏休みや冬休み中の学力向上・規則正しい生活習慣を身につけるため、小学生を対象とした「やさしいサポート教室」を開催しました。

～通学合宿～

小学生が、宿泊交流センターで規則正しい生活を送りながら、1週間学校に通いました。地域の皆さんと一緒にご飯を作ったり、芦別高校生に勉強を教えてもらいました。

☆家庭でも・・・



テレビやゲームの時間を制限したり、早寝・早起きを心がけるなど、規則正しい生活を身につけることにより、学習習慣の定着や生活習慣の改善に取り組むことができます。この機会に、ご家庭で話し合ってみてはいかがでしょうか？



芦別市特別支援教育連携協議会を開催

12月15日（金）に、学校法人国際学園星槎大学大学院教育学研究科の准教授である『西永 堅』氏を講師に迎え、特別支援教育に携わる関係者による『芦別市特別支援教育連携協議会兼相談支援部会』を開催し、「個別の教育支援計画」の必要性・重要性についての貴重なお話や、各関係機関における個別のケースに対する委員からの質問に対して助言をしていただきました。



※就学に際してお悩み事などがありましたら、下記までお気軽にご相談ください。

芦別市仲間づくり子ども会議を開催

12月21日（木）に『いじめ』をなくすための取組として、今年で7回目を迎えた芦別市仲間づくり「子ども会議」を開催しました。

会議では、「いじめはどうしてなくなるの？」をテーマに、市内小中学校と芦別高校・星槎国際高校の代表者が活発なグループ協議などを行い、その内容を今後の活動に生かすために各学校に持ち帰っています。



各学校では、児童・生徒会が中心となって「いじめ根絶」に向けた取組を進めていますが、「いじめ」をなくすためにはどうしたらいいか、家庭でも子どもと一緒に話し合ってみましょう。

※芦別市のホームページ（トップページの『いじめ対策』）にいじめやいじめ問題対策連絡協議会のページを掲載していますので、ご覧ください。右のQRコードを携帯電話・スマートフォンで読み取り、ご覧いただくこともできます。



就学援助制度について

就学援助とは、経済的な理由によって就学が困難なお子さんの保護者に対して、学用品費や給食費など学校で必要な費用の一部を援助する制度です。

この就学援助を受けることができる方は、市内在住で芦別市内の小中学校に通う児童生徒の保護者で、生活保護法に定められた要保護者に準じる程度に生活が困窮していると認められる方です。

また、平成30年度から、新入学学用品費を入学前の3月上旬に早めて支給することとしました。対象者である新小学1年生又は新中学1年生になるお子さんの保護者には、申請書等を配布済みですので、ご不明な点等がございましたら下記までお問合せください。

保護者・地域の皆さまへ

教育だよりは、本市の学校教育の現状や課題、さまざまな政策や取組などを広く市民の皆さんに知っていただき、情報を共有化するため年2回発行しています。

本市の学校教育の向上に関するご意見を「郵送」、「ファックス」、「電子メール」（様式自由）にてお寄せください。

【送付先】〒075-8711 芦別市北1条東1丁目3番地 芦別市教育委員会学務課学校教育係

【電話】0124-22-2111 【ファックス】0124-22-9696

【電子メール】gakumu@city.ashibetsu.hokkaido.jp